

県政報告資料

山口県議会議員（文教警察委員長） 岡村 精二

【4年間で振り返って】

現在、県議会では文教警察委員会委員長を拝命し、教育問題や暮らしの安心安全に係る課題に対応し、また議会運営委員会委員として円滑な議会運営に取り組んでいます。

議員活動としては、山口県中山間地域振興条例の制定、ふるさと産業振興条例の制定、山口県青少年健全育成条例の改正、公共工事入札制度の改正などに、積極的に取り組んで参りました。

7年間の議員活動は行政特有の「先例主義」「事なかれ主義」「他県追従主義」という厚い壁との戦いであり、「行政改革とは職員の意識改革」ということを強く感じました。

県議会における政権与党である自民党議員でありながら、「与党内野党的存在」として、執行部からは煙たがられているようですが、いくら与党とはいえ、議会と執行部にはある意味での緊張感がなければ、県政発展はありえないとの立場で、今後も課題解決に努力したいと思っています。

これからも『生活者の起点に立った政策を提案し、自ら行動し、夢を形にしていける議員』を目指して参ります。

そのためには、

A．行政主導から政治主導の政治を実現するために、専門的知識を持つ議員を目指す。
建築分野（一級建築士） 教育分野（30年間の実績） 災害対策分野（博士）

B．行政では対応できない課題は、自ら行動しその解決する。
不登校、引きこもり対策 体験教育活動

の決意で、みなさまの期待に添えるよう、努力してまいります。

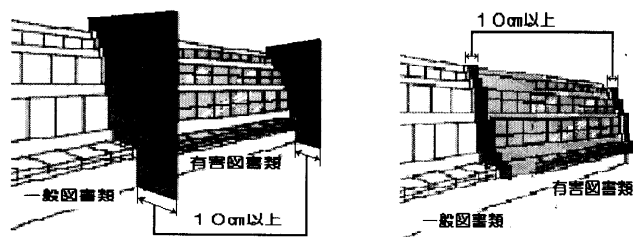
ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【4年間の取組み】

議員として

- 山口県中山間地域振興条例の制定（山口県初の議員立法）
- ふるさと産業振興条例の制定（議員立法）
農林水産の地産地消だけでなく、産業分野においても地産地消を促す条例。
（大型公共工事の地元業者への分離発注を促す。限られた県内業者が、工事を独占する懸念もある）

- 山口県青少年健全育成条例の改正
有害図書については日本一厳しい規制に改正



（行政の「事なかれ主義」「先例主義」の壁を強く感じた事例）



- 土木建築業における入札制度の改正

334社へのアンケート調査を実施（全国初の事例）

【参考：土木工事と建築工事の比較（1億円規模の工事の場合）】

調査基準価格・判断基準価格の引上げ（日本トップ水準へ）

土木建築工事とも調査基準価格：予定価格の86%

判断基準価格：予定価格の84%

2年間で、土木で約10%、建築で約15%引き上げられました。



- 文教警察委員長として
大津高校、長門水産高校、日置農高の統合問題など

その他

- 障害者就労支援として宇部空港に「鍋島」開店
障害者自立支援法に基づく課題解決の一助として開設
（ふるさとの名産品を育てる会）
（全国で初めて出発ロビー搭乗口そばに飲み屋を開設）
- 広域通信制単位制の「精華学園高等学校」開校
山口県内の不登校1800名、高校中退700名
高校卒業の資格がなければ、理美容師になれない現実
- 山口大学より学位「博士」取得（災害対策分野）
平成11年、台風18号による高潮で宇部市が甚大な被害を受けたとき「これから自然災害多発時期が来る」と予感して平成12年、山口大学大学院・防災システム工学科（三浦房紀教授）に入学。9年目の今年3月、ようやく学位「博士」を頂きました。災害対策の専門家として、県民の安全・安心のためにお役に立ちたいと思っています。
- 「手紙でつむぐ親子のきずな」出版
- 第1回「心を育む総合フォーラム教育大賞」
NPO法人「森と海の学校」が特別賞とブロック賞を受賞しました。



来期、特に力を入れて取り組みたい課題

『国家の根幹は教育』：国家存亡の危機（未来の日本を担う子どもを育てる）
家族の崩壊：児童虐待、高齢者放置、家庭内暴力、自殺（心の崩壊）

- 山口県が担うべき使命：山口発・日本再構築
明治維新を成し遂げた山口県人としての誇りと気概の復活
郷土の歴史教育
- 山口県教育とは（県教委の見解：一人ひとりの個性を尊重する教育風土）
薩摩藩：郷中教育
会津藩：仕教育（日新館）
長州藩：『花のほほえみ 根のいのり』

松下村塾の塾則

- 両親の命、必ず背くべからず。
- 両親へ必ず出入を告ぐべし。
一、晨起盥梳（朝起きて顔を洗い髪をくしけずる）、先祖を拝し、御城にむかひ拝し、東にむかひ天朝を拝する事、仮令病に臥す共怠るべからず。
一、兄はもとより、年長又は位高き人には、かならず順ひ敬ひ、無礼なる事なく、弟はいふもさら也。品卑しき、年すくなき人を愛すべし。
一、塾中に於て、よろづ対応と進退とを、切に礼儀を正しくすべし。
第一条より、終り五条に至り、違背あるべからず。
第一条の科は、必ず座禪たるべし。其の他四条は、軽重によりて罰あり。

乃木希典家の家訓

幸を招く基は、先祖に向かい、朝晩、手をば合わせよ。